



Protein Engineering

タンパク質工学による創薬と難治癌の免疫療法の開発
3回シリーズ

第3回 2024 **10/29** 火
16:00 - 17:00
(17:00 - 18:00 交流会)

国立がん研究センター
柏キャンパス会場



今すぐ登録



小出 昌平 @ ニューヨーク大学

Shohei Koide, PhD

Professor, Department of Biochemistry and Molecular
Pharmacology at NYU Grossman School of Medicine, and
Perlmutter Cancer Center at NYU Langone Health

タンパク質工学による 細胞内がん促進因子の 標的化

がんは主に、変異などによって細胞内で調節不全に陥ったタンパク質によって引き起こされます。これらの細胞内タンパク質は従来、低分子薬を用いて標的とされてきましたが、選択性と効果を兼ね備えた低分子薬の開発は依然として困難です。一方、タンパク質工学を用いて開発されたバイオ医薬品は高い選択性と効果を実現できますが、細胞内への送達が難題となっています。本講演では、先進的なタンパク質工学を用いて、細胞内のがん促進因子を効果的に標的とするための新しい手法について議論します。



帰国中の開催！ 柏キャンパスで交流会



当日は、小出先生と石原先生が、国立がん研究センター柏キャンパスにいらっしゃいます。

海外に根を下ろし活躍されている先生方と交流したい方、研究についてディスカッションしたい方、海外研究について聞いてみたい方、その他ご興味ある方はぜひ会場にお越しください。

問合せ：EPOC/CPOTセミナー事務局
cpot_seminar@ml.res.ncc.go.jp

国立がん研究センター 柏キャンパス
千葉県柏市柏の葉6-5-1